

## 第2節 資料館における社会教育活動

### 1. 山口県立山口博物館との連携事業『講座 古代ウォーク』

当館は、平成27年(2016)6月24日に山口博物館と連携協力協定を締結した。以降、毎年継続して実施している事業が『講座 古代ウォーク』である。これは、山口県内を県央部、東部、北部、西部の4ブロックに分け、順次見学地域を設定し、出土資料を観覧し、実際に遺跡地をめぐるという内容である。実施の際に重視している点は、当該自治体と連携しながら、未公開の資料も含め、出土資料を確認すること、周辺地形と遺跡の立地を確認するため、できる限り遺跡地まで歩いて行くことなどである。

令和2年度は県央部を対象とすることが決定しており、山口博物館との協議により小地域として山口市大内地区を選定し、山口市教育委員会の後援を得て、10月31日(土)に事業を開催することとなった。また山口博物館の方針に従い、募集定員は新型コロナウイルス感染対策を考慮し8組20名までとなった。

開催にあたり、4月24日(金)と6月11日(木)にコース設定のため現地視察、5月29日(金)に山口博物館に所蔵される大内地区出土・採取資料の確認を行った。10月17日(土)にコースの最終確認を行い、開催当日を迎えた。

当日は好天に恵まれ、24組36名の応募から抽選で選ばれた8組14名の参加者を迎え、講座を開催した。当日の実際のスケジュールは以下の通りであった。

12時30分～13時00分 受付

13時00分 開始予定だったが、参加者連絡葉書の開始時刻に誤記載があったことから30分遅延

13時30分 大内地区長野公民館で趣旨説明と遺物解説(写真4)

14時15分 大塚古墳群見学と解説(写真5)

14時25分 長野遺跡遠望と解説

14時45分 仏供田遺跡遠望と解説(写真7)

15時30分 妙見社古墳群2号墳見学と解説(写真8)

16時00分 大内氷上古墳見学と解説(写真9)

16時43分 氷上バス停留所でアンケート記入、解散。バスで長野公民館まで戻る

大内氷上古墳見学後、昭和10年(1935)の土取工事中に破壊された墳墓遺跡である入野遺跡、古代瓦が出土した御堀遺跡、山口市最古級の横穴式石室墳で、昭和45年(1970)に造成工事により消滅した馬塚古墳を訪れる予定であったが、開始時刻が遅れたこと、長野公民館に戻る路線バスの運行数が少ないことなど諸事情により、氷上バス停留所にて会を閉じ、解散することとなった。

長野公民館から氷上バス停留所まで往復約6kmの行程中、遺跡が分布していない地域を歩き続ける場面(写真6)もあったが、参加者全員が無事に歩き終えることができた。参加者からは「普段なかなか行けない場所、職員の方の解説を聞きながら巡るのはとても有意義です」「近くに住みながら、初めて行く所ばかりで興味深かったです」「また行きたい。すごくわかりやすく楽しかった。あと3つ行きたかった」などの声が寄せられた。

山口市内で開催される歴史見学ツアーは、室町時代(大内文化)、江戸時代末期～明治時代初期(明治維新)に偏重しがちであり、市内に色濃く残る先史時代の歴史遺産に目を向ける機会が少ないように感じられる。この傾向は、山口市ばかりでなく県内に広く見られることから、当講座の開催意義は大きいと思われる。また、毎年反省点として挙がる「資料観察と遺跡地見学時間の不足」を解消するため、講座修了直後より、次年度以降の開催時間の延長について検討されることとなった。



写真4 山口市長野公民館での資料熟覧



写真5 大塚1号墳見学・解説



写真6 大内長野から大内氷上へ



写真7 氷上橋から仏供田遺跡遠望・解説



写真8 妙見社2号墳へ



写真9 大内氷上古墳見学・解説